

ミコアイサ（カモ科） 全長 42 センチ

再びミコアイサをお届けします。

大浦沼に残っている冬鳥のカモ類は、ミコアイサだけとなった。毎日沼に通っていると、ミコアイサとの距離感が短くなっていることを感じます。

岸辺近くでのんびりと泳いでいた 1 羽のメス。突然バタバタと羽ばたきながらそのまま水中に潜ってしまった。まもなく水面に浮かんでくると、クチバシには大きな魚が挟まれていた。自分の体と比べると一口では呑み込めないような、かなりの大物です。なかなか食べられずに悪戦苦闘中。すると背後からオスがスイスイと急接近。メスに体当たりしながら追いかけて、獲物を横取りする気配です。メスが魚をくわえたまま水中に逃げ込むと、オスも一緒に潜っていった。



メスがくわえて来たのはヘラブナのような。

まもなく水面に現れた 2 羽。オスのクチバシには大きな魚が挟まれています。メスから強引に奪い取ったようです。

それから数分後です。今度は別のオスが水中から魚をくわえて浮かんできました。すると今度はメスが後を追いかけて、魚を奪い取ろうとしているようだ。メスもなかなかやるじゃないか。



背後からオスが迫ってくる。



奪い取った魚を強引に飲み込んだ。

近寄る敵に対しても敏感に反応し、一斉に逃げ去るなど仲間意識の強いミコアイサ。

しかし、餌の確保に関してはオスもメスも関係なく、力づくで奪い取ってもいいことでしょうか。仲の良いカモだと思っていたが、なかなか厳しい生活環境でした。



オスを追いかけるメス。



全速力で逃げ去った。